

通信指導票、の書き方

以下の順序で作成し、メール送信ください。

●2～3枚ずつ送信してください。まとまると回答が遅れます。

準備

①テキストドキュメントを開き、必要な(質問文章など)を作成し、添削完了しておく。

②メール送信画面を出して、上記文章を貼り付ける。

(直接メールに打ち込んでかまいません。)

③「通信指導票」や【通信添削問題】とのPdf画面とを一致させるように文章を作る→以下の方法で作成する。

これより以下を送信する。

【通信指導票】

1、「通信指導票」の場合→第〇回と記入する。

(記入例: 第00回)

2、質問事項を記入する。

(記入例: リンパ液の作用はどのようなものですか?)

【通信添削問題】

①テキストドキュメントを開き、Pdf文章の 質問 をコピーして張り付ける。

②【回答】と書き、解答文章を書く。(150文字以内にまとめる。150文字以上は無条件不合格です。→相談者に簡単で分かり易い話しをする訓練するため必要。)

記入例

(1)動物は何故食べることで栄養を摂るのか。

【回答】

栄養の有るものを直接体の中に内に注射すると、免疫系が自分の物でない、非自己物質と見なし、入つて来た物質を体の外に出してしまう。食べると胃腸より吸収される段階で、食べたものの中から必要な材料を取り出し、自分の物質へと作り変えるから、体の中へ取り込まれ、自己の体の一部として止どまり、利用される。

(2)自己とは何であるか、非自己との区別方法

【回答】

150文字以内で書く。最初からうまくかけないのが当たり前です。

理由: 相談者は、自分の症状の薬を用いる方法と理論については、町医者以上の知識がある。

よって「聞いている」「知ってる」内容を話してもだめである。3歳児に分るように説明する能力が求められる。

夏休みや春休みの、NHKラジオで「子供電話相談」が参考になる。

相談者は体調悪いのに、長々と聞かされるのは苦痛である。